

# 関西部会だより

## 【年間主題】

### 『愛に根ざし、愛にしっかりと立つ』

「どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて、信仰によってあなたがたの心の内にキリストを住まわせ、あなたがたを愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるように。」

エフェソの信徒への手紙 3章 16-17節

#### 《目次》

頁

- \* 巻頭言 部会委員長 田村義明 牧師・・・・・・・・・・ 2-3
- \* 恵み深き主 山下バプテスト教会 西野 志津・・・・・・・・ 4-7
- \* 新型コロナウイルス感染予防対策と教会の近況について(3)・・・・・・・・ 8-22
- \* 2020/21年度 関西部会委員会議事録・・・・・・・・・・ 23-26
- \* 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27



## 巻頭言

関西部会委員長 田村 義明

(日本バプテスト大阪神愛教会牧師)

「教会は地域の中で」

「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

(マタイ 28:20)

関西部会の皆様、主のみ名を賛美します。昨年度は、部会報発行以外、ほとんどの部会の計画が実行できず残念でした。今年度の総会も2年続いて開けませんでした。そういう中で、新しい委員会ができ、2021年度が始まりました。

部会の働きは、相互の交わり、協力伝道にあると思います。

一つの教会では難しいことでも、部会で協力すればできることがあります。

春のファミリーキャンプや夏の中高生キャンプは、なかなか一つの教会でするのは難しいと思います。猪名川研修センターという素晴らしい施設が与えられ、キャンプ場理事会の方々が管理、運営、維持してくださっています。青少年育成は、部会で取り組むことができる大きな柱と思います。

また、毎年1月に行われてきた新年信徒大会も大変素晴らしい交わりと研修の時となって、今まで会を重ねてきたと思います。今年度の開催については、担当委員の方々がいろいろ考えて下さり、前向きな意見を出して下さいおられ、期待しています。

また、2月の講壇交換も今の状況であれば、行うことができそうです。この部会報も西川委員(山下)が一生懸命企画、編集とご奉仕くださり、各教会の様子を知ることができ感謝しています。

無牧の教会がいくつかありますが、関西部会内でのつながりの中の協力関係が活かされて、礼拝が持たれていることも伺っています。全く孤立して、様子も分からないという教会はありません。これからも助け合いながら、与えられた場所で宣教の働き、奉仕の働きを続けていきましょう。

私は、大阪の前は、広島におりました。広島では、お好み焼き屋さんが「おたふくソース」の旗を立てて、お店を出しています。鉄板1枚の周りに数人が座って食べられるような小さなお店で、しかも裏道のこんなところにあったりします。もちろん人の集まるところには必ずといっていいほど繁盛しているお店があります。それもまたいいと思いますが、目立たないけれども、地域に溶け込むようにして、学校帰りの高校生が寄り道して食べるようなお店の数は、日本一だと思います。

コロナになって、大きな教会ほど影響を受けたのではないかと思います。また、もともと課題を持っていた教会は、それが露わになりました。大きいことはいいことだ、という時代はもう終わっています。前のように戻ろう、同じことをしようでは、何も学ばなかったことになります。教会は広島のお好み焼き屋さんのようにあつていいと思います。

教会が地域に仕えるために何ができるかを考え、実行に移すために、部会の中で学び合いたいと思います。私は、教会も地域の活動拠点の一つになれたらいいと思っています。

## 猪名川研修センター



## 恵み深き主

山下バプテスト教会  
西野志津

「鍵がない!!!」

これは、私が高校生の時、学校から家へ帰るスクールバスの中での起きた出来事です。そして、ローマ 8:28

【神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを私たちは知っています。—新改訳—】という主から私たちへの約束を体験する幕開けでもありました。



この時、私はブラジルにありますアメリカンミッションスクール (Pan American Christian Academy) に通っておりました。そこでは、教科書、辞書、体操服を保管するためのロッカーが各生徒に与えられ、貴重品などの紛失や盗難事件を防ぐために、厳重な対策が取られていました。ロッカーは、ダイヤル式の暗証番号と錠前をつけるという 2 段階方式が奨励され、鍵の管理の難しさを考えて、錠前の鍵の複製は許されていませんでした。万が一、鍵を紛失してしまった場合は、教頭先生にお願いをして、金属切断用の鋸で錠前のわっかの部分を切断するしか方法はなく、生徒にとって鍵はとても大切な持ち物だったのです。しかし、完璧な生徒などおりません。やはり鍵を紛失してしまうことがあり、教頭先生とアメリカ人の生徒たちが和気あいあいと冗談を飛ばしながら、錠前を切断する微笑ましい光景を時々目にしたものです。そして、その度に、私が鍵を紛失した場合は、そのような温かい対応はありえない。だから、決して、私は、鍵をなくしてはならないと強く自分に言い聞かせておりました。なぜならば、それは私が日本人だからです。つまり、人種差別です。ミッションスクールでそのような目に会うとは夢にも思っていませんでしたが、私が日本人というだけであからさまに私の存在を無視される教師もいらっしゃいました。今、考えますと、それも致し方ないことだったのかもしれない。

第 2 次世界大戦後 30 年余りが経っていた頃とは申しませんが、あのすさまじい悲惨な大戦で負ったアメリカの方々の悲しみが癒えるには、日本人同様、まだ時間が必要だったのかもしれない。さらに、差別社会も残る中、日本人の私のことは受け入れがたいことだったのでしょう。アメリカのお子さん方のために設立した学校に入れていただけただけでも寛大な対応だったかと思います。よって、私が鍵を失くした場合、教師から冷たくされること、もしくは、対応すらしてもらえないことは容易に想像ができました。それだけ私を取り巻く環境は、

日々、辛いものでした。

それなのに、鍵がない…通学鞆にあれだけ注意して入れたはずの鍵が見当たらないのです。私は、ただ茫然とし、「主なるイエス様、あなたは、私が置かれている状況の全てをご存知です。主よ、私は、大切な鍵を失くし、とてもうろたえています。しかし、主は、この小さき者であります私を憐れんでくださると信じます。恐れ入りますがどうか私を助けてください。」と、心の中で叫び、主にすがるしかなく、主だけが私の希望でした。

すると主は、私の祈りに応えてくださいました。「学校へ引き返すことは考えず、今、バスが前に進んでいるように、その成り行きに添って前進しなさい。」と語りかけてくださると同時に、その導きに私が従えるように、主は私の心を整えてくださいました。

家に着いて、念のため、スペアキーがないか、鞆をひっくり返してその中を隅々まで調べましたが、念願の鍵はありません。“落とした”という事実を深々と受け止めた次第です。そこで、再び主に祈ることにしました。その祈りの中で、明日、登校する時まで待つようにとの主の導きがありましたので、とにかく主に寄り頼み、委ねようと腹をくくったことを今でも覚えています。

そして、翌朝がやってきました。目覚めた時、ベッドの横に鍵があるという奇跡は起きていませんでしたが、鍵を見つける使命にかられてか学校を休む考えは浮かばず、いつものように朝の祈りの時を持ち、身支度をして、潔くスクールバスに乗りました。ただし、ロッカーが閉まったままでは、その日の授業を受けるための教科書がない為、何と少しでも朝礼が始まる前までにロッカーを開けなくてはなりません。辛くとも、非情を覚悟に教頭先生に錠を切断していただくか、鍵を見つけて自分で開けるかの運命の時が私を待ち受けていました。

そこで、スクールバスの中で、もう一度、主に「主よ、お分かりの通り、私は、どうしてもロッカーを開ける必要があります。その方法は、主がお決めになられることです。私が望む方法かそうでなくても、それに従うのが私の進む道です。しかし、主よ、もし、私の願いを申し開きすることをお許しくださるならば、主のお力でもって私を助けてください。主よ、恐れ入りますが、学校で私を囲む厳しい環境に加えて、もうこれ以上悲しみに耐える力が私にはどうしてもありません。できれば、教頭先生に頼るのではなく、主に望みを置くことをお許しいただけないでしょうか？主よ、どうか私を憐れんでください。主のみ力でもって、私に鍵を見つけさせてください。」と祈りました。

その時、バスの外を見ると、快晴でした。不思議と私は平安に包まれ、学校へ

の2時間余りの往路の間、眠りについてしまう程に安らかでした。途中、バスの窓に当たる雨の音で起きて、雨の中での探し物はやりにくいと思いながらも、主のなさるままにと思い直して、再び、眠りにつきました。次に目が覚めた時はもう学校に到着していました。時計を確かめると、朝礼の時間まで、20分程ありました。また、雨も止んでいました。早速、主に、「主よ、ありがとうございます。鍵を探す時間があります。雨も上がり、太陽が輝いています。どこを探しましょうか？」と祈りましたら、主は、芝生のサッカーグラウンドを私の視野に入れてくださるのです。「主よ、このサッカーグラウンドを探すのですか？とても広いです。どこから手掛けましょう？」とまた尋ねましたら、主は、「昨日、帰りのバスに乗るために歩いた所を行きなさい。」と答えてくださり、私が歩いた場所を思い出させてくださるのです。そこで、私は、「主よ、わかりました。その通りにさせてください。ただ、鍵は小さく、芝生の中に埋もれてでは見つけにくく、朝礼までには間に合いません。」と申し出ましたら、「光、輝く物を探すといい。」と聞こえてきました。

そうなのです！主は、私が広いサッカーグラウンドから短時間で鍵を見つけ出せるように、私がバスの中で眠る間に、雨を降らせてくださったのです。そして、学校に着く頃に、雨は止み、太陽を照らしてくださったのです。それによって、サッカーグラウンドの雨に濡れた芝生は、太陽の光が反射して、キラキラ輝いていました。主によってそれに気が付いた私は、「主よ、ありがとうございます！昨日、私が歩いた道でキラキラ光る物を拾えばいいのですね！？」と心躍らせ、光る物を追いました。「あ！これかな？」と拾ってみると、アルミホイルのまるまったゴミだったのですが、落胆せず、諦めず、2、3個それらしき光る物を拾い続けましたら、なんとついに私の鍵にたどり着いたのです！それも私が慌てることもなく、いつものようにロッカーを開けて、必要とする物を取り出し、教室へ向かい、朝礼が始まる5分前には着席し、その日の授業に和やかに備えている私がいました。主の御業でなければ有り得ないことです。

そのように主が私の願いを叶えてくださったことはもちろん嬉しいのですが、それよりも主が生きておられ、私たち罪人を愛してくださり、私たちの良きに願ってくださり、共に歩むことを御心にしてくださっていることがなにより嬉しくって仕方ありません。

私の不注意から起きた出来事も主の御業を体験するという益に変えてくださいました。そして、その恵みは、その時私が想像もつかなかった続きがまだあったのです。

日本に帰国後、在学中に大阪女学院の修養会にてこの証をいたしました。その結びとして、「神様は、私たちの肉眼で見ることにはできないが、聖書が語る愛にあふれた御業をなさる神様は、確かにいらっしゃいます。主は、生きておられ、

ことを起こす方です。例えば、風は目で見ることはできませんが、木の葉がそよ風に吹かれて、動くことを見て、風の存在を知ることができます。そのように神様が起こされる愛の御業を通して、神様のご臨在を実感することができます。」と、まとめましたところ、それを聴いた学生の1人が主イエス様を救い主と信じる決心をされました。「鍵がない!!!」と小さい物がなくなった出来事から、主なる神様は、1人の女子学生が主イエス様を見つけるという恵みを与えてくださったのです。

最後にアメリカンスクールでの高校生活に関して、1つ補足させてください。長くなってしまっは、このページに内容が収まり切れなくなる恐れがありますので、詳細には触れることを控えますが、そこでの生活が差別を受けて苦しいだけで終わらなかったということをお伝えします。神様のお力添えの下、見返りを求めず、ひたすらひたむきに数々の厳しい試練を突破したあかつきに、光栄にも National Honor Society のメンバーに選ばれ、その成果を私のことを敵対視なさっていた先生方が認めてくださったのです。そして、全校生徒の前で私に優秀賞を表彰してくださいました。なによりも大きな喜びは、1番私にきつい態度を示されていた先生が私を抱擁してくださったことです。わだかまりが消え、仲直りができた瞬間です。

ああ、なんと神様は、素晴らしいお方なのではないでしょうか。実にローマ8：28の通りです。神様のみ心に添った苦しみに合う時、神様はそれを全て益に変えてくださるといのが今回紹介いたしました私の体験談です。悔い改めて、神様に立ち返り、神様を探し求めるなら、必ず神様は、応えてくださり、人が想像する以上の祝福と平安を与えてくださいます。主イエス様の再臨まで、みなさまと神様の愛を分かち合い、慰め、励まし合うことができれば幸いです。

ますます主イエス様に感謝の祈りが捧げられ、父なる神様に栄光がありますように。

【わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。一主のみ告げ。—それはわざわざでなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。あなたがたがわたしを呼び求めて歩き、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに聞こう。もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つけるだろう。わたしはあなたがたにみつけられる。一主のみ告げ— エレミヤ書 29:11-14 新改訳】

## 新型コロナウイルス感染予防対策と教会の近況について(その3)

関西部会加盟各教会からの報告(順不同)

### 野並キリスト教会

(代) 臼井 嘉男

野並キリスト教会の近況の一端をお知らせいたします。

- ① 昨年春は会堂での礼拝を休み、各自各家庭で行いました。  
夏以降は今日まで会堂で捧げております。
- ② 3蜜を避けての努力を続けております。
- ③ 礼拝以外の集会は休んでいます。
- ④ 8人～12人の礼拝なので、礼拝を続けて来ました。
- ⑤ 週報の作成は昨年度まで伊藤芳夫兄が9年間続けられました。  
今年度は、伊藤兄が関西部会の委員にもなりましたので、週報作成は中島 幹兄に変わりました。
- ⑥ 牧師館の屋根、外壁、内部2か所の改修工事、耐震工事2か所が9月末には完成します。
- ⑦ 長年の祈りが主に聞かれ、来春専任牧師赴任のこととなり、感謝に満たされております。
- ⑧ 名古屋市や周辺にお住まいの知人、友人がたをご紹介下さい。



### 京都バプテスト教会

牧師 松岡 正樹

部会報の原稿については、前回報告したものとほとんど変わりありません。京都教会の活動は前回報告したものとほとんど変わりはありません。

主日礼拝は休まず継続していますが、祈祷会は休会中です。再開は教会員のワクチン接種と感染状況から今後判断する予定です。主の晩餐はブドウ液のみを続けています。今のところ関係者に感染者は出ていませんが、礼拝中の換気に気を付け、食事の提供を行わないなどの対策を続けています。



## 城陽バプテスト教会

牧師 高月 悠己子

コロナの騒ぎが終息する気配の見えないまま、1年9か月が過ぎました。城陽バプテスト教会では、最初の時、入居しておられる施設からの要請で教会に来られなくなった方が一人、ご自身の判断で欠席したものの、今もなお復帰出来ずにいる方が二人いますが、その他の方々は変わりなく礼拝を守っています。

そこに、自分の教会ではリモートで物足りない他教派の方が（それだけの理由ではないのですが）一人、20年近く出席出来ないうでいた方が復帰することが出来て、奏楽も担ってくださる方が一人加わっているので、コロナの騒ぎ以前とはあまり変わらない状態です。

週の半ばの二つの祈禱会は、牧師が県境を越えて移動するのを少なくするため、携帯電話のメールのやり取りで、二つの集会を一つにまとめて続けています。

ワクチン接種も、全員が2回目が終わっています。でも、油断しないように、手洗い、マスクの励行は皆さんそれぞれに気をつけて実行しています。目下の話題は「森のコンサート、今年もできないのかなあ。みんなと会いたいね。」です。



## 奈良佐保キリスト教会

牧師 東間 克美

新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応は、2020年度の部会報で2度にわたって記載した通りで、ガイドラインに基づく対応をしております。従いまして、本号での特筆事項はありませんが、ワクチン接種に関しては殆どの方が2度目を終えておられるようです。幸い、現時点までに感染者は出ておりません。

さて、私どもの教会は本年11月に創立100周年を迎え、11月14日に記念礼拝を予定しております。創立100周年記念事業として、既に牧師館新築がなされ、また「聖書全巻リレー通読」が9月5日をもって終了いたしました。「創世記」1章から「ヨハネの黙示録」22章まで、5年にわたって導いてくださった神さまに心からの感謝をささげております。

さらに、100年の恵みを感謝して「記念誌」の編纂事業も順調に進捗しており、来年春までにはみなさまの教会・伝道所にお届けさせていただく予定です。

コロナ禍にあって先行き不透明な中、主なる神さまの守りと平安を願い、また神さまの導きに期待しつつ、託されている使命を果たしていきたいと願っております。

## 寝屋川キリスト教会

(代) 工藤 孝雄

コロナ禍の日々ではありますが、聖日礼拝、祈祷会、麦の会（婦人会）、やさしい聖書の会等は、それぞれ欠かさずに行っております。

寝屋川教会は現在も無牧師（3年半になります）ですが、関西部会や他教派の牧師先生のご協力、信徒伝道者の皆様のご協力を頂いて、聖日礼拝を守っております。

牧師や信徒伝道者が来られた時は、礼拝後に少しの時間ですが、お茶を飲みながら歓談を致しております。

どの教会も同様と思いますが、食事を共にすることは致しておりません。

教会員の高齢化が進み、1人暮らしの方も結構おられますので、礼拝後の時間を有効に使いたいと願っております。

また、現在中止している行事等を復活させたく願っております。

その為には、コロナの終息及び牧師の招聘を祈る日々でございます。

## 門真キリスト教会

牧師 金井 望

◆門真キリスト教会は今年4月に金井<sup>かない</sup>望<sup>のぞむ</sup>師を牧師として迎え、6月27日に牧師就任式を持ちました。大矢和男師（説教）、藤岡荘一師（司式）、田村義明師（祝辞）にご奉仕をいただき、幸いな就任式となりました。関西部会の皆様から祝電やハガキ等でお励ましのメッセージを頂戴し、感謝いたします。

◆金井師と共に長女的美樹（みき）姉と三女の瑠花（るか）姉も西岡本キリスト教会から門真キリスト教会に転会しました。門真教会の会員は80歳代が4名、70歳代が1名、60歳代が1名、50歳代が1名、20歳代が1名、10歳代が1名の計9名となりました（6月27日時点）。その他にレギュラーメンバーとして客員が1名、求道者が1名います。

◆長年にわたり臼井恵治兄と共に門真教会を支えてこられた夫人・早苗姉が8月11日に天に召されました。享年86。コロナ禍ということもあり、葬式はご遺族ご親戚のみが集って、一日のみで行いました。8月15日の主日礼拝を故臼井早苗姉の追悼礼拝としました。

◆大阪府はコロナ禍の厳しい状況が続いてきましたが、門真教会では今年3月から毎週主日に教会堂に集まって、コロナ対策をしつつ、リアルの礼拝を続けています。最近使徒言行録の連続講解説教をしています。大阪府は9月30日をもって緊急事態宣言が解除されます。門真の高齢の信徒は皆それぞれ2回のワクチン接種をすでに終えています。

◆今年10月に門真の教会堂にインターネットの光回線を導入します。今後はインターネットを使った宣教にチャレンジします。

◆金井牧師は、聖書やキリスト教神学を教える金井塾を主宰しています。教会堂やオンラインの他、出張でも講義を行っています。本格的に聖書やキリスト教を学びたいという教会または個人の方がおられましたら、お気軽にご連絡ください（TEL：080-5598-5122）。



◆門真教会の庭に菜園があり、きゅうり、トマト、ナス、ピーマン、ゴーヤ、オクラ、カボチャ、スイカ、唐辛子、キンカン、夏みかん、さくらんぼ等を栽培しています。門真教会のお近くにお越しの際は、お声をかけていただくと、新鮮な野菜をプレゼントできるかもしれません。

## 高槻バプテスト教会

荒川 貞雄

主の御名を賛美します。  
御依頼のありました高槻教会の近況を報告します。

本年2月より、オゾン発生器（添付写真）を導入して教会内の殺菌をすることにしました。7時から9時半迄の2時間半の間、毎日作動させています。

従って、日曜日でも無菌状態でVIPな皆様をお迎えできていると思います。

ちなみに、外部からウイルスが持ち込まれても、短時間で不活性化（死滅）するとのことでした。

5月に教会内で5人の濃厚接触者が発生しましたが、PCR検査の結果、いずれも陰性でした。オゾン発生器の効果だと思っています。

日曜礼拝は昨年5月からLINE配信を始め、今年6月からYouTubeでの配信を始めました。出席者は20人から30人です。



## 茨木恵伝道所

白井 真

2021年度も引続き礼拝は礼拝堂より YouTube で配信して、密にならない人数で集まることも可能として守っています。総会については、議決権行使書を用いて役員と部会の牧師先生の協力を仰ぎ、行うことができました。毎週のメッセージは、部会の先生と教派を超えた先生のご奉仕により、主のメッセージをフルコースでいただき、雨具をしていたらもったいないくらいの聖霊の雨が降り注がれていることに感謝しています。毎週の出席者数は、礼拝堂 8 名、YouTube 7 名くらいです。役員会（4 人）は LINE の音声のみで行い、うまく運営できています。しかし、高齢による体の不調や色々な環境の変化等があり、教会に来ることができない・YouTube も視聴できない兄弟姉妹がいますので、録音したものを送る等でメッセージを届けていますが、その後のフォローがなかなかできず、また、子供たちも教会に集えていないので、無牧師である今の状況を主に祈り、牧師が与えられることが日々の祈りの中にいつもあります。また、高槻バプテスト教会が母教会となるので、交わりが途絶えないよう役員会に出席し（時には Zoom を使用）、情報交換を行い祈り合っています。

そんな中ではありますが、教会の外壁を塗替えることができました。20 年以上もメンテナンスをしていなかったので、相当傷んでいました。塗替え前は真っ白でしたが、今回はクリームイエローで塗替え、十字架も木調の茶色とし、青空に映えるきれいな仕上がりです。JR 京都線で東西に移動されるときはどうぞご覧下さい。

茨木恵は礼拝後にはいつもお昼ご飯を共にしてきました。今はそれがありません。イエス様は弟子たちと、招かれた宿泊先でいつも食事をされていました。



もちろん賛美もあったでしょう。主よ、私たちには兄弟姉妹で礼拝堂に集い、祈り合い、賛美し、食事を共にする、そのような交わりが必要です。一日でも早くその日が来ますように。



## 日本バプテスト大阪神愛教会

牧師 田村 義明

大阪神愛教会では、5月半ばから水曜祈祷会を休止し、6月から聖餐式を止め、8月から土曜の祈祷会も休止としました。会堂清掃は、礼拝後に有志で行うこととなりました。

現在は、CSの礼拝と主日礼拝が行われています。主日礼拝の出席者は、26-30名ほどです。礼拝は、ラインによるライブ配信が行われています。最近、スマホを設置する場所を司会者、説教者の真横に置いたので、音声がよく入るようになりました。最初からそうすれば良かったと思っています。

週報には毎回、次の言葉が掲載されています。「ウイルス感染予防のため、自宅での検温、こまめな手の消毒、マスク着用、間隔を開けての着席など、お願いします。集会室にはモニターテレビが設置されていますので、集会室もお使い下さい。窓をできるだけ開けての換気にご協力ください。賛美の声など、できる限り小さめをお願いします。『ライン』での礼拝出席ができます。スマホをお持ちの方はお知らせ下さい。教会からの連絡にも使用させていただきます。教会内での飲食はお控え下さい。礼拝が終わりましたら、用事のない方は、早めのご帰宅をお願いします。教会内で感染を起こさないよう、お互いに注意しましょう。」



## 我孫子バプテスト教会

牧師 大矢 和男

### 1. 教会の現況

前回報告(その2)しました対応と変化はありません。



## 曾根キリスト教会

牧師 丸茂 誠

主日礼拝はライブ配信を続けながら礼拝を捧げています。教会学校は長い休校期間を経て、7月18日から再開したものの、緊急事態宣言の発出に伴って、8月8日より休校することとしました。長いお休みの期間を経て、教会学校礼拝を再開したとき、たくさんのお子どもたちや保護者の方々が来られ、感謝でした。再び休校となってしまいましたが、主が一人一人を導き、守ってくださるようにと祈り求めています。



ひかり保育園は、引き続き、行事の変更や感染防止対策等、日々様々な対応を迫られる中にありますが、園の歩みは守られています。

教会と保育園に連なる一人一人の体調が守られ、神様の導きのもとに歩むことができるよう、また様々な困難の中にある方々を覚えて、祈りを合わせて歩んでいます。



## 北豊中教会

牧師 松村 光司

北豊中教会は2021年4月から日曜日の礼拝は午後3時からと変更して礼拝をしています。松村牧師が池田バプテスト教会との兼任となったためです。礼拝の説教は原則、松村牧師ですが、月に1回は近隣教会の牧師先生にお願いすることになっています。現在は鼓ヶ滝キリスト教会の川人昭男牧師に継続して来ていただき感謝しています。

教会の中では、礼拝時間を変更することには議論があり、また時間を何時にするかでも悩みました。役員会でも繰り返し話し合い、また礼拝後に教会員に限らず、礼拝に来ている皆さんで話し合いをして決めました。夕拝という案もありましたが、高齢の出席者もあり、あまり遅い時間ではないほうが良いという判断をしました。

そのような中で始まった午後3時からの礼拝も2、3ヶ月で想像以上に慣れてきて、自然に続けられています。夏場の午後3時は一番暑いというのが唯一の想定外な不便でした。午後の礼拝なので、奏楽の奉仕で来てくださる他教会の方にも協力をいただきやすくなりました。

池田バプテスト教会とは協定書を結び、牧師の謝儀、奉仕の仕方、教会籍の置き方など、丁寧に取り決めをしています。教会は毎週日曜日の3時からの礼拝と、毎週木曜日は一日、牧師が来て開けています。ときには池田バプテスト教会の方も礼拝に来てくださり、良い交わりの中で礼拝が続けられることを願っています。

特にいま、キリスト教主義学校に通っている中学生が2名、継続して礼拝に出席していて、良い交わりの中で励まされています。若い人たちにイエス様との良い出会いがありますように、お祈りください。



## 池田バプテスト教会

牧師 松村 光司

池田教会は4月より新しく松村光司牧師を迎えました。コロナ禍ですが感染対策をしながら礼拝を継続しています。Facebookでの礼拝ライブ配信も行い、説教原稿の配布などもしていますので、礼拝堂に具体的に集まっているのは、毎週20名弱です。距離を開けて座ることを考えると、それなりの人数に感じます。

このような中ですが、8月8日には牧師の就任式、9月19日には召天者記念礼拝を行うことができ感謝しています。就任式は礼拝に引き続いて行いましたので、



部会の皆様にはご参加いただくことが難しく失礼いたしました。励ましのメッセージをお寄せいただいで、心から感謝いたします。

8月頃からワクチンの二回接種を終えた方が増えてきました。高齢の方がワクチン接種をされると、少し安心感を持つことが出来ます。しかし、聖餐式や食事はしていません。特に聖餐式については、どれくらいリスクであるかは意見の分かれるところではありますが、役員会で話し合いながら様子を見ています。10月、11月頃になって、感染状況が落ち着いてくるのを待って、個別包装の聖餐セットを利用して行えるようにと願っています。

牧師は北豊中教会との兼任ですので、日曜日の午後は原則教会におりません。今はコロナ禍のため大きな問題はありますが、コロナ禍が落ち着いてきて、いろいろなプログラムを計画するときには、また色々な新しい試みが必要になるように感じています。



牧師 藤井 勇次

山下バプテスト教会は2020年4月12日より新型コロナウイルス感染防止のために次のような対策・対応を行っています。

(礼拝)

1. 一般礼拝も教会学校礼拝も休止し、牧師夫妻による私的礼拝としておささげしています。この礼拝には誰でも自由に出席出来ます。また、兵庫県に緊急事態宣言が出ている間の教会学校礼拝はお休みしています。説教は全て藤井牧師が行っています。
2. 礼拝中のマスク着用、発熱の方・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触特定者の方への礼拝自粛、手指及び礼拝堂各所の消毒、礼拝堂の常時換気を行って礼拝を行っています。また、司会机と説教壇にはパーティションを設置しています。
3. 礼拝堂献花(生け花)と礼拝奏楽を除いて、礼拝司式や受付、教会掃除、教会学校説教等の全ての分担奉仕は休止しています。礼拝献金の祈りや聖餐式準備、月1回の教会掃除、教会学校礼拝司会及び奏楽は有志の方々の奉仕により行っています。
4. 毎週日曜日の礼拝録音をパソコンやスマートホンによって聞けるようにしています。また週報も同様にパソコンやスマートホンで毎週見れるようにしています。

5. 毎週の礼拝説教の解説と黙想をまとめた「自宅日曜礼拝導き書」を作成し教会員、客員、求道者の皆様にお届けしています。

(集会)

1. 平日の集会及び家庭集会及びコンサートや講演会、聖書とピザのキャンプ場の集い、ファミリー礼拝の全ての活動を休止しています。
2. 毎週水曜日の午前中を礼拝堂開放日とし、自由に入出入り出来るようにしています。牧師とも面会出来ますので、週報等を取りに来られたり、礼拝堂で祈る人がいたり、牧師と面談する方がいらっしゃいます。

(聖餐式)

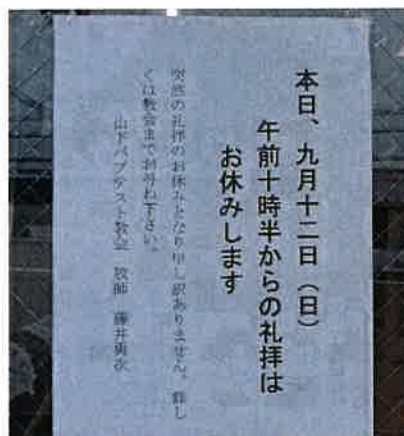
聖餐式は2ヶ月に1回個別パックにて行っています。

(役員会)

執事会は2ヶ月に1回行い、付属園運営委員会は不定期に行っています。

(新型コロナウイルス感染者対応)

2021年9月5日の礼拝出席者のお一人が3日後新型コロナウイルス陽性判定となりました(ワクチン接種を2か月前に2回行ってた人)。兵庫県の濃厚接触者定義に基づいて調べましたが、礼拝出席者に濃厚接触者に該当する人はいませんでした。しかし礼拝後この方と話をされた3名の方には直ぐにお知らせしました。保健センターの担当の方と何度か話をしましたが礼拝を休む必要はないということでした。しかし最大限の安全を取ろうと執事会で決定し、翌週の9月12日のいつもの時間帯の礼拝はお休みし、牧師夫妻二人だけで礼拝をお献げして通常時間にはホームページで礼拝メッセージが聞けるようにしました。主は御守り下さって2週間の経過観察期間中新型コロナウイルス感染の拡がりは見られませんでした。陽性となった方も2日で熱は下がり、ホテル隔離から3日間で解放され、陽性判定から4日目には陰性となりました。



(今後の予定)

今のところ2022年4月からは通常礼拝及び平日集会、奉仕等に戻るよう執事会で準備していくことにしています。



## 鼓ヶ滝キリスト教会

「コロナ禍の礼拝」

牧師 川人 妙子

コロナ禍の緊張がいつまで続くのか分かりませんが、この時まで、主イエス・キリストによって守って頂き、集う者一同、無事に歩ませて頂いています。感謝です。いずれの教会も、同様でありましょう。

フル回転の換気のなされた教会の玄関に入ると、まず消毒液に迎えられます。

挨拶もアイトークにて小声で短く、互いのディスタンスを取り着席、数少ない讃美は心の中で、御言葉中心の礼拝で、一切の鳴り物等を排除したカルバンの主張した御言葉のみの礼拝を思い浮かべつつ預かっています。

聖餐式は完全個包装のパンと完全個包装のブドウ液による聖餐式で、自分以外の他者の手の触れることのないように工夫されています。

礼拝献金用の小袋廃止。献金当番の手が最小限の接触にて行われるべく、従来の献金用ボックスから、吊り下げ式袋に。連絡等は、手短かに小声で、礼拝後は、直ちに蜜を避けて帰途につくという約束事を共に遵守して、鼓ヶ滝キリスト教会に集うすべての者一同うち揃って、毎週預かっています。

主イエス・キリストが、お守りくださり、ここまで無事に来られたように、これからも必ずお守りくださることを確信して、主の御手にお委ねして歩んでおります。感謝。



## 二見キリスト教会

(代) ト部 章

今年の1月より日本バプテスト日ノ本教会の井上先生、西岡本キリスト教会の藤岡先生のご指導をいただきラインを使い毎週、礼拝をしています。

会員高齢者のワクチン接種も済み9月より12月までは月1回の会堂礼拝を予定しております。

今後の礼拝はコロナの動向を見ながら決めていくようにします。

## 西岡本キリスト教会

「コロナ危機と教会の収穫」

牧師 藤岡 荘一

コロナ危機の一年半、何より高齢者の多いこの教会に感染が持ち込まれないよう、また感染を起こさないよう最善を尽くしながら、ここまで何とか守られたことに感謝します。また当初のガイドラインに従って、緊急事態宣言中は会堂礼拝を家庭礼拝に切り替え、礼拝の録音と週報や説教原稿の配達・配信を8月～9月に起きた第五波の間も続けてきました。しかしその目的は文教地区の住宅街にある教会の置かれた環境に配慮しながらも、家庭礼拝によって各自の信仰が育成されたこと、また教会とのつながりを強めたことであつたとふり返り、それが大きな収穫となりました。また以前から6名以内・90分以内の集会を積極的に再開していたことによって、出席者がじっくり聖書を読む機会を与えられたことで、この間に教会を支える中高年世代に二名のバプテスマが与えられたのは恵みなことでした。またZoomをはじめとするインターネットによって、遠方会員と画面越しにゆっくりと対話できるようになったことも、これからの牧会のあり方に大きな一石を投じています。今後はこの環境をさらに整えて、双方向で対話できる大型モニターを使った礼拝出席の検討を始めました。

わたしたちはかつて、伝道集会を開いたり、近隣へのチラシ配りやホームページで紹介したりと、何とか教会に来てもらえるような努力をしてきましたが、今回の危機を通して、もっと身近なひとり一人に聖書から福音を伝えることの大切さを改めて考えさせられたと受け止めています。もちろん、その間に生じた財政的な課題はあるものの、宣言明けには会堂礼拝を再開し、臨時総会を開いて今後の見通しを立てながら、この教会に与えられているこれからの福音宣教について、御心を尋ねる話し合いを予定しています。また会堂新築後12年を迎え、修繕積立からの支出も計画的に必要な時期となり、そのことについて調査するための時間も与えられました。

コロナ危機の収束は、重症化のリスクこそ減っているものの、治療薬の開発も含めてあと二年ぐらいはかかると考え、教会にはワクチン接種に慎重な方、また家庭礼拝を今後も継続したい方もいることに配慮しながら、高齢化する教会員の信仰が最後の時まで守られる支え合いも含めて、執事会や信徒会で十分話し合い、この間に開かれた新しい扉とその向こうにある道のりに感謝しつつ希望をもって歩いていきます。これからも関西西部会にある教会・伝道所・協力団体の皆さまと共に、助け合い祈り合いながら、それぞれの地で担っている福音宣教に励んでいきたいと願っています。

## 日本バプテスト 日ノ本教会

牧師 井上 正之

コロナ禍の大変な時期を迎えて既に1年半以上経過していますが、私たちの教会も守られて毎週礼拝を続けることができています。多くの方々のお祈りに支えられていることを覚え、主イエス様と信仰の仲間感謝いたします。



日曜日の礼拝は休むことなく行ってこれましたが、木曜日の祈禱会は緊急事態宣言発令の際には状況を見て休みもありました。最近は礼拝出席者の多くの方がワクチン接種を済まされ、また新型コロナウイルス感染対応についても多少理解も増えましたので、以前とはだいぶ様子は違ってきているように思います。ただゆったりとした交わりの時や飲食を伴う集い、諸集会などはまだまだ開けていない状況です。人々を集会にお誘いすることも躊躇することもあり、なかなかこれまでのようにはいきません。



これまでのはがきや手紙に加えて、便利な通信手段も増えてきましたので、それらも活用しながら教会の交わりを保っています。何よりも互いに祈りに覚えることが大事だと考えそのように心がけています。さらにこのような苦難の時こそ、教会はコロナ禍で

困窮している人々のために祈る務めがあることを痛感させられています。具体的な支援になかなか至らないこともありますが、主に導きを求めつつ歩んでいきたいと願っています。

関西部会の諸教会の皆様の上に主のご加護と平安をお祈りいたします。

## 姫路恵教会

姫路恵教会は2021年も新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら教会活動ができていることを感謝しています。礼拝出席の群れは小人数ですが、玄関にはアルコール消毒液を常備し、全員がマスクを着用して三密を避け、通常より

讃美歌を減らし時間を短縮して礼拝を行っています。パンデミックのさなかに参加者が減るのではなく、昨年から客員として来られるようになった姉妹が毎週の礼拝に出席されるようになったことは、教会にとって大きな喜びです。

8月はシュニーベルガー師のお父様がお亡くなりになり葬儀のためにドイツに帰国されました。その間は教会の礼拝を休みにして、会員と客員は他の教会の礼拝に出席させていただき主日の務めを守りました。

またシュニーベルガー師は、2020年の秋から「バプテストの学び」として、山下バプテスト教会の藤井勇次牧師より「日本バプテスト同盟の宣教と組織」、西岡本キリスト教会の藤岡荘一牧師より「バプテストの礼拝」についてご指導をいただき、予定されていた学びを無事に終えることができました。お二人の先生には心から感謝しております。9月の総務部委員会で日本バプテスト同盟の教師基礎資格認定が承認されました。教会はシュニーベルガー師を教師基礎資格保有者として招聘し、10月31日（日）15時～牧師就任式を予定しております。その日は教会にとって、長い無牧の時間に終わりを告げ、新しい旅路の始まりを感謝と喜びをもって迎える日となります。姫路恵教会から誕生する牧師と教会の宣教と将来のために、どうぞお祈りください。栄光在主。



コスモスの里（豊能町）



## 2020年度 第五回関西部会委員会議事録

日時：2021年4月3日（日）13：30～14：30 Zoomによるオンライン会議

出席：井上正之（委員長）、黒田秀雄、桐島幸子、田嶋淳一、

川人妙子、松村光司、丸茂誠、田村義明、

欠席：西川富三

（敬称略）

### 議事

次回部会委員会委員候補者について

部会委員長候補の東間克美師（奈良佐保）の辞退を承認した。

部会委員長候補に川人妙子師（鼓ヶ滝）を新たに加えることとした。

部会委員候補に藤岡荘一師（西岡本）を加えることとした。

祈禱を以て終了した。

## 2021年度 第一回関西部会委員会議事録

日時：2021年7月24日（土）13時～14時40分

場所：Zoomによるオンライン会議

出席：伊藤芳夫、川人妙子、熊谷稔、高月悠己子、田嶋淳一、辰巳裕、田村義明（委員長）、西川富三、藤岡荘一

開会：委員長／聖書 エフェソ 3：16～17／奨励・祈禱

I. 報告 ①部会総会：書面表決結果報告（別紙）が6月16日付で井上正之部会長から各教会・伝道所・協力団体に送付された。報告内容について前部会委員に事前に共有されたかを確認する。

☆ 以下の意見が申し添えられている。

・ 資料に全国女性会関西部会の報告が掲載されていなかったため、来年度は確認すること。

・ 部会分担金の算定基準について問い合わせあり。⇒後日、質問内容を確認

② 猪名川研修センター：今年度もコロナ危機の中で予約状況は厳しいものがあるが、場内の整備は進んでいる。現在、理事長を選任できず、荒川貞雄センター長が代務者を担っている。

③ 神学校関西教室：9月より大阪神愛教会にて「神学概論／講師：藤岡荘一」

開講。

- ④ 各無牧師教会の現況が報告された。
  - ・ 門真教会は 2021 年度より金井望師が牧師就任。
  - ・ 高槻教会は 8 月に牧師招聘に関する臨時総会を開催。現在、田村師が代務者。
  - ・ 姫路恵教会はウド・シュニーベルガー師の同盟教師基礎資格認定が近日総務部承認の予定。現在、父親が召天したため 8 月末までドイツに帰国中。
  - ・ 二見教会は 9 月から会堂礼拝再開予定、10/10 熊谷師が説教応援。
  - ・ 茨木恵伝道所は第二主日に熊谷師が説教応援中。

## II. 議事. 各担当者の選任

- ① 部会長：田村義明／書記：藤岡莊一／会計：田嶋淳一（継続）
- ② 研修会：熊谷稔 ・ 2 月ぐらいに「無牧師教会について」の研修会を予定。
- ③ 新年信徒大会：伊藤芳夫、高月悠己子、辰巳裕
  - ・ 従来型の集会は難しいが、オンラインなども含めて実現可能な方法と内容を検討していく。1 月開催となれば早急に話し合う必要がある。
- ④ 交換講壇：川人妙子
- ⑤ 部会報：田村義明、西川富三（継続） ・ 10 月に前期号を発行したい。内容は、各教会からの近況報告、証し（可能なら 1～2 件）、部会委員会議事録等の予定。
- ⑥ キャンプ：来年度も開催は困難と意見有り、当面熊谷師が部会青年会会長の丸茂師と連絡を取って、部会担当の教育プログラムについて意見交換する。
- ⑦ 問安：第一回は熊谷師が京都教会を問安する。
- ⑧ 信徒奉仕者派遣：制度がほとんど周知されておらず、現状では派遣が困難。

## III. 閉会／次回委員会開催の件 ・ 対面での開催を希望（難しい方は Zoom 出席可）

日時：2021 年 9 月 12 日（日）15 時 30 分～／場所：大阪神愛教会と Zoom の併用

川人師の祈禱を以て終了



## 2021年度 第二回関西部会委員会議事録

日時：2021年9月12日（日）15時30分～17時30分

場所：Zoomによるオンライン会議

出席：伊藤芳夫、川人妙子、熊谷稔、高月悠己子、田嶋淳一、辰巳裕、  
田村義明(委員長)、西川富三、藤岡荘一(書記)

開会：田村委員長／聖書 使徒言行録 20:34～35「共にいた人々のためにも働く」  
奨励・祈祷

### I. 報告

- ① 前回議事録承認⇒承認 ※名称は「講壇交換」に統一すること
- ② 同盟・部会／次回理事会9月20日(月祝)「ハラスメント防止規定」が10月から運用開始、監事の推薦による相談委員・対策委員が選出される予定。
  - ・ウード・シュニーベルガー師(姫路恵)の教師基礎資格認定が9月3日(金)総務部委員会で承認、牧師就任式を10月31日(日)に予定。
  - ・奈良佐保キリスト教会100周年記念礼拝は11月14日(日)に予定。
- ③ 猪名川研修センター／昨年度より利用者が増えている(10⇒19組)ものもの日帰り利用が多い。コロナ後の対応に備えながら場内整備を継続。
- ④ 神学校関西教室／10月9日(土)から一年間「神学概論」(藤岡師)開始、来年度前期は「新約聖書I前半」(高月師)、後期から「新約聖書I後半」と「キリスト教学」を予定(講師未定)。
- ⑤ 部会教師会・全国教師会／9月28日(火)内海関西合同オンライン教師会、10月11日(月祝)～12日(火)三バプテスト合同牧師主事オンライン研修会
- ⑥ 問安・無牧師教会の現況／京都教会への問安はコロナ感染状況を見て当面は控えてほしいと先方から返答あり。無牧師だった高槻教会は招聘状を送る段階。茨木恵：神学校に依頼予定。二見教会：10月10日熊谷師、11月28日井上師が奉仕、寝屋川教会：11月28日藤岡師が奉仕。
- ⑦ 部会青年会／当面は活動休止の状況で、キャンプ等の部会プログラムへの協力は難しい。

### II. 議事

1. 部会報について／原稿はまだ数件しか集まっていない。各教会で発行している「教会だより」から転載可能な証しを1～2件募集したい。予算(35,000円)の約半分を10月に使用する予定(田嶋兄：現金は郵便振替で送付する)。

2. 講壇交換について／2022年2月20日(第三主日)開催とし、部会地域に緊急事態宣言またはまん延防止等措置が発令されていた場合は中止する。

まずは例年通り教会・伝道所からの申し込みを受付し(無牧師教会・伝道所から申し込みがあった場合はその数に見合う信徒説教者を依頼)、新年信徒大会で発表(抽選ではなく事前に確定)する。

3. 新年信徒大会について

- ・日程／2022年1月10日(月祝)10時～12時
- ・開催方法／準備はオンラインを想定して進めるが、詳細は担当者会議で話し合う。
- ・内容／礼拝(司会・説教・奏楽)、各教会・伝道所からの近況報告、同盟・部会からの報告、講壇交換の組み合わせ発表。
- ・奉仕者／9月15日(水)13時半～担当者会議(辰巳兄・伊藤兄・高月師)

☆担当者会議報告 宣言等が解除されていれば、大阪神愛教会にて開催し、各教会2名参加

10:00～10:40 礼拝／説教:高月師、奏楽:大阪神愛教会より  
司会:辰巳

10:40～11:00 各教会・伝道所からの近況報告、  
同盟・部会からの報告、  
講壇交換の組み合わせ発表

4. 無牧師教会・伝道所の研修会／2022年2月27日(日)15時からの開催を予定。教会・伝道所が無牧師になった場合について、特に信徒の方々がそれぞれの意見を出し合えるよう、またその思いに寄り添っていく。出席案内の対象は部会信徒、教師に加え、質問に答えられるよう総主事、神学校校長、総務部長にもオブザーバー出席を促す。詳細については熊谷師が担当し、次回委員会で再度話し合う。

Ⅲ. 閉会／次回委員会開催の件

日時：2021年11月14日(日)15時30分～

場所：神愛教会またはオンライン

川人師の祈祷を以て終了

## ◀編集後記▶

部会報担当 西川 富三（山下バプテスト教会）

- ▶ 本号を編集する直前の9月27日、感染拡大の第5波が急速に収束に向かっていた状況を踏まえて、政府は東京など19都道府県に発出中の緊急事態宣言と併せて、宮城など8県に適用中のまん延防止等重点措置を9月30日の期限で全て解除することを決定しました。全面解除は3月21日以来約半年ぶりとなります。因みに、9月30日現在の全国新規感染者数は1,986人（重症者数は932人）となりましたが、本号発行直前の10月10日現在の全国新規感染者数は777人（重症者数は483人）まで減少しています。
- ▶ 今や「関西部会だより」の目玉となっております「新型コロナウイルス感染予防対策と教会の近況について（その3）」は、大部分の関西部会加盟教会・伝道所から報告を受けることができ感謝致しております。  
コロナ対応について改めて詳しく記述された教会もあれば、前回の報告と対応に変化ない旨を書いて写真を1枚添付された教会もあります。
- ▶ 部会委員会は年初からZoomによるオンライン会議を行っています。Zoomに全員が慣れるまで若干手間取りましたが、会を重ねるうちに何とか会議らしくなり、会議は比較的スムーズに進行したと思います。因みに、編者は最初スマホを使用していましたが、メカに弱いためにその機能を使いこなせませんでしたので、娘にパソコンにZoomの設定をしてもらい、前回からパソコンに切り替えてオンライン会議に参加しております。
- ▶ 各教会でも殆どの高齢者はワクチン接種を2回受けているようです。コロナがこのまま収束に向かえば、今後コロナ禍以前の礼拝出席者数を維持することは難しいかもしれませんが、引き続き三密を避けた形での通常礼拝に復帰できる日も近いように思われます（既に復帰している教会もあるようですが）。コロナ感染拡大を契機として、関西部会の教会でも教会をベースとするZoom、YouTube、Line、Facebook等を利用したインターネット配信に取り組んでいる教会が増えているのは、明るい材料と言えます。インターネット配信を利用した福音伝道は、主が世の終わりが来る前に計画されている世界の福音伝道のあり方の一つかもしれません。
- ▶ この「関西部会だより」も従来の紙による発行部数は数十部と限られていますが、電子版も用意しておりますので、電子版を希望される方は各教会の牧師（又は責任者）経由編者に申し出て下さい。

編集委員：西川 富三、田村 義明

発行：日本バプテスト同盟 関西部会委員会

印刷製本：日本バプテスト同盟 日本バプテスト大阪神愛教会

〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里1-1-54

